



はなみずき

学校だより
磐田市立竜洋西小学校
平成 29 年 6 月 15 日
～えがお かがやく にしのこ～

～ 繋ぐ 次の100年に スポーツフェスティバル ～

5月27日（土）、竜洋西小学校の運動場に子どもたちの元気いっばいの声が響き渡り開校101年目のスポーツフェスティバルが多くの保護者・地域の方に見守られる中、無事に開催されました。

今年度の大会スローガンは「三色それぞれ全力を出し切り、101年目の新たな一歩を踏み出そう！」です。言葉のとおり、522名の全力を結集した競技・演技が行われました。

今年度の最大の見せ場は、中日新聞等にも掲載していただきました全校児童による団体演技「新たな始まり 西の子ソーラン節」でした。日頃より支えていただいている地域の皆様へ感謝の気持ちと元気を届けたいという願いのもと行いました。500名を超える児童による団体演技は余り例がなく、指導する私たち教員も試行錯誤でしたが、当日は、西の子のパワーが会場全体に溢れていました。



本校の児童数はここ10年で約80名の減少となっています。少子化の波の影響が確実に出ていますが、これまで同様、地域と共に育つ西の子を目指して教育活動を進めてまいりますので、御理解御協力をお願いします。

「スポーツフェスティバル 校長挨拶より」 校長 青島 彰

大切なことは2つです。全力を出し切ること、101年目の新たな一歩にふさわしい日にすることです。



皆さんなら大丈夫です。皆さんは、今日に向けた練習を全力で頑張ってきたからです。校長先生は、皆さんが必死になって練習する姿を校長室からずっと見ていました。練習する度に動作が素早く正確になり、立っている時の姿勢も誇らしいくらいにしっかりしてきました。また、かけ声も一つにまとまり、運動場を越えて地域に力強く響くようになりました。

全力を出し切ろうとする頑張る自分の力、そして、それを応援する仲間みんなの声で、今日この運動場は感動でいっぱいになると思います。「感動はみんなの声と自分の力」。この言葉も、もう一つ心の中にしっかり入れておいてください。

スポーツフェスティバルを終えて・・・応援団長の声

赤組団長 鈴木ナオミさん

私は最後のスポーツフェスティバルで赤組の団長をやりました。赤組の誓いの言葉は「協力し合い、最後まであきらめず勝ちぬこう」です。私は、応援の練習で大きな声を出せるようにがんばりました。本番では黄組、青組に負けなくらいの声が出せたので良かったです。最後のスポーツフェスティバルで優勝できたのでうれしかったです。とても良い思い出になりました。



黄組団長 鈴木菜々果さん

私は6年生最後のスポーツフェスティバルで団長をつとめました。学年団種目の綱引きは練習のとき負けてしまいましたが、「練習はうそをつかない」この言葉を最後まで信じ練習をしました。本番の結果は3位でした。でも私は3位でもうれしいです。それは、黄組の誓いの言葉「最後まで悔いなく戦い続けよう」を最後まで守ることができたからです。全体の結果は残念だったけれど、悔いは残っていないのでとても思い出に残るスポーツフェスティバルでした。次は中学の体育祭なのでがんばりたいです。



青組団長 香田俊さん

ぼくは応援団長をやってとても良い経験ができ、良かったと思っています。今まで、誓いの言葉のような全校に向かって話すという機会があまりなかったのですが、しっかり言うことができ良かったです。ぼくは応援団長に選ばれたとき、しっかりやれるか不安でした。でも、練習していくうちにだんだん自信がついてきて、本番では大きな声で応援することができてとても良かったです。応援リーダーのみんなや先生などがサポートしてくれてとても感謝しています。ぼくは応援団長をやってよかったなととても思いました。



★★★竜中生の皆さん、ありがとうございます！★★★

スポーツフェスティバル前日、朝から雨が降り、翌日の開催が大変心配されました。そんな時、竜洋中学校の有志の皆さんがグラウンド整備を手伝ってくれました。手伝ってくれている中学生の姿から西の子は多くのことを学ぶことができたと思います。教室からグラウンドに向かって、「ありがとうございます。」という声がたくさん届き、すがすがしい気持ちになりました。

